

3年ぶりに川本町との姉妹都市交流研修 特産品開発とタブレット端末導入の検討

新たな奨励作物として
ピーマンを指定し、町内
での栽培面積の拡大を推
進している。

新たにピーマンを

川本町は、健康食品で
あるエゴマの栽培が有名
で、「エゴマの聖地」と
称され、メディアにたび
たび取り上げられるなど
希少価値の高い特産品。
エゴマの実をしばって
できるエゴマ油は、贈答
用のほか、ふるさと納税
の返礼品としても人気が
ある。

川本町特産品の振興は エゴマの聖地と活躍する新たな担い手

姉妹都市縁組を結んでいる島根県川本町との
議会交流は2年ごとに坂町と川本町で実施して
いるが、このたび3年ぶりに9月28日川本町で
開催され、特産品振興策について研修した。
また、11月25日にはタブレット端末導入につ
いて研修した。



川本町特産品の事例発表



タブレット端末を使った研修

ピーマンの取り組みは
◎鳥獣被害にあいにくい。
◎実が軽く女性や高齢者
でも取り組みやすい。
◎収穫が数日遅れても出
荷の企画から外れにく
い。

若手が新たな担い手に
◎野澤友裕さん：川本町
の農業研修生として移
住。現在では、エゴマ
の有機栽培から収穫、
加工、販売までを自身
で行っている。
◎木下愛さん：川本で高
校三年間を過ごし、家
族で川本町に移住。

出荷に町営スクール バス活用

◎高齢農家や少量出荷に
対応するため、生産者
がバス停までピーマン
を搬入し、石見川本駅
でJA職員が荷下ろし
する。

議会のタブレット端末導入

川本町議会が今年6月
定例会からタブレット端
末を導入したため、導入
についての視察・研修を
行った。

導入機器および費用は
次のとおりである。

導入機器

タブレット端末：議員用
11台、執行部用13台
ペーパーレス会議システム

導入費用

タブレット端末353万円
会議システム初期導入費
8万8千円
年間使用料39万6千円

坂町の学び点

実際に視察すると、導入
の必要性は感じるが、4月
に選挙があるので、新議員
での検討を申し送りする。

導入経過

令和2年度：議会内での
会議システム導入検討。
令和3年度：タブレット
端末購入費の補正予
算。端末機能品、会議
システム業者決定。
令和4年度：議員、管理
者研修会、情報通信機
器使用基準を策定、6
月定例会から紙媒体と
併用し端末を本会議な
どに導入。

坂町の学び点

現在、坂町での特産品
開発は役場産業建設課が
主になって行っている。
一部町内業者との連携
があるが、民間活力と連
携・活用が必要。

議会アンケート結果に対する対策実施

議会アンケート結果から見た改善点

【町民の議会に対する関心が低い】

考えられる主な原因

- (1) 議会からの**広報不足**
- (2) 議会からの**広聴不足**



議会アンケート結果に対する対策内容と実施時期

(1) 議会の広報不足

- ① 議会だよりの臨時号を発行する。
- ② 町の公式ラインを活用し、議会の活動を発信する。(公式ライン登録の際「議会」にチェックを入れるよう啓発する。)
(以上令和4年度から実施)
- ③ 各種団体などに取材を行い、議会だよりに掲載する。(令和5年度から実施)

(2) 議会の広聴不足(令和5年度から実施)

- ① 今後の議会報告会の実施方法について検討する。
- ② 町内各種団体との懇談会を行う。
- ③ 小中学生の議会傍聴の再開。
- ④ 町内大学生を対象に議会だよりの編集などのインターンシップを募集する。

視察研修

議会広報委員が広報研修会に出席

(令和4年9月21日・9月22日)

去る9月21日、議会広報委員会の5人が
東京都のシェンバツハ・サポー会館にて
広報研修会に参加した。

【研修概要】

- ① 議会広報ファシリテーター
熊本大学客員教授 越路 真一郎氏
- ② 広報専門監 谷 浩明氏
- ③ エディター 吉村 潔氏

住民の情報に対する目が肥えてきている
ので、現状の議会だよりででは絶滅の危機が
懸念される。

大化けする必要がある、「持続可能」
(SDGs)な議会だよりにするための方策を
模索すること。

【今後に生かすべき留意点】

- ① 住民の満足度は？・伝えると伝わるは別。
- ② 記事の3要素(見出し・リード・本文)
- ③ 時流キャッチ、絶えざる創意工夫。
- ④ 結論ファースト・先入観を捨て、企画・
特集を重視など。



全国町村議会広報研修